



じんけんを「他人ごと」から「自分ごと」へ

OYA OYA 通信

学びのホームグラウンド じんけん楽習

3回目 6/19の報告 「メディアはどう現実を構成するか ～ニュースを読み解く～」

五十里元子さん (南大阪メディア・リテラシー研究会)
西村寿子さん (FCTメディア・リテラシー研究所)



五十里さん ・ 西村さん

3回目はメディア・リテラシーがテーマでした。

初めに西村さんよりメディア・リテラシーの説明がありました。市民がメディアを社会的文脈でク

リティカル(批判的に)に分析し、評価し、メディアにアクセスし、多様な形態でコミュニケーションを作り出す力のことで、そのような力の獲得を目指す取り組みもメディア・リテラシーだそうです。

後半は五十里さんがファシリテーターで、「沖縄慰霊の日」のニュース報道を読み解くというワークをしました。6月23日が慰霊の日です。2018年にNHKのニュースで報道された映像を分析してグループで話し合います。内容だけでなくテロップ、登場人物、カメラワーク、ナレーション等にも注目します。今まであまり気にせず見ていたのですが、な

ぜここでテロップの色が変わるのかなど、今まで気にも留めなかった点に気づかされました。最後にTBS放送ではどう報道されていたのか映像をみて、終わりました。

私は、メディアと教育を征したものが社会を支配するのでないかと改めて思うと同時に、だからこそクリティカルに読み解くことが必要だと思いました。(文責 李(い) ぽんみ)

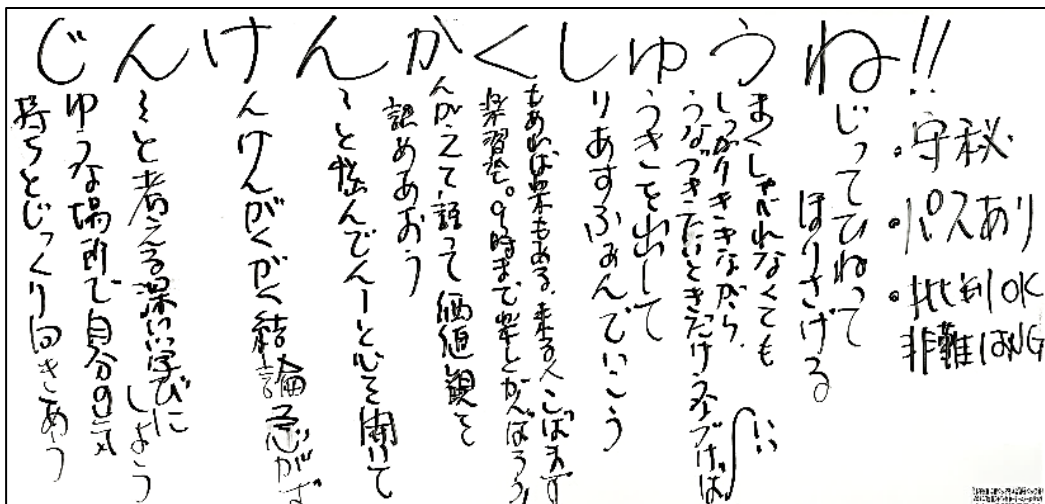
みんなのふりかえり

■難しかったです、勉強になりました。テレビとともに育ってきた自分は、テレビのいつていることをそのまま受け入れてしまうくせがある様に思うので注意しなければ…。(シミズ)

■1つのニュースをひも解いてみると こんなにもたくさんの思いやメッセージがあることに気づきました。こんなにも短時間で、たくさんのメッセージを伝えるメディアがすばらしくもあり、怖くも感じました。メディアに躍らせるのではなく、常にフラットな目で見て自分の考えを持たなければと思います。

■今日、特に気になったものが「組み立てられた映像が私たちを作っていく。」いかに自分が何気なくニュースを見ているのが気づかされ、今後メディアをうのみにするのではなく、よく自分で考え、情報を読みとろうと思いました。(ピロピロ)

■ニュース番組をテロップや登場人物や音



声などで分析するという体験ができてよかったと思いました。また、メディアによる情報操作というか、その意図に流されないよう、考えることが大事だと思いました。

■1つの番組のテロップの色使い、ナレーションのトーンなどを考えたこともなかったので、初めてこのような視点で考えることができ、とてもいい機会になりました。ありがとうございました。

■初めてのまなびで、分析することはすごく難しく、その先の考えるべき点までたどりつくことができなかつたことは残念です。メディアをそのままのみこみ受け入れるだけでなく、自分なりに疑って作り手の意図を考える(方法の)入り口を知ることができ、とてもためになりました。メディアにつくられるだけにならないようにしたいです。

■とても興味い内容でした。ニュースなどだけでなく、ドラマや映画やバラエティさえも意図をもってつくられているような気がします。もっと深く学習したいと思いました。

■メディアについて考えることが、今まで考えることがまったくなかつたので、この話題に取り組みこと、話を聞くことに興味がわくかもわからず参加しましたが、普段ぼんやりと観ているTVニュースを新たな観点で観ることを教えていただき、これからの生活において、大変ためになる研修に参加させていただきました。ありがとうございました。

■何気なく見ているニュースも、詳しく見ることで新しい発見があることがわかりました。メディアをうのみにするのではなく、考えてメディアに触れたいと思います。

■教材として使われた「沖縄慰霊の日」のNHKのニュースは私も見て覚えていて、中学生の詩が印象として残っていた。この映像を分析して構成されてきた背景や意識して切り捨てた部分が、あつたはずだ…と疑問を確信にしていくな手法を教えてもらえた。慰霊の碑に集まる人の言葉を少なくして、詩にすべてを語らせることの良否が取れた構成と思う。

■とても大切なことだと思いました。気になることはあるけれど、分析することなく、なぜかまで考えることまでいかないうちをすごしています。連続して勉強会のようなものがあれば、参加してみたいと思いました。

■NHKとTBSのちがいが明確で、よく観るとNHKは丁寧に作られてるけど、当たり障りないという印象←わざと!!なんだということが体験的に学べて良かったです。

(sachi)

♪ リテラシー 意図はなにかと考える ♪

■メディア・リテラシー 読みとく、崩壊させるにも個人の力量がいるなと感じた。一つの情報しか受け入れられなければ、多様性を受け入れる素地がなければ、メディアは大衆のもの。少数者、力のない者の視点で考えること、見ることの大切さがよくわかった。(ALI)

■報道でうつっているものが全てではないとは、わかっている、実際に分析という作業で、班の方の意見を聞いて、たくさん気づくことができました。子どもたちがSNSでたくさん言ってるからと安易に信じたり、自分も発信したりする時代で、メディア・リテラシー教育は、とても大切になってきていると思います。

■「難しいテーマだな」と思いながらの参加でしたがとても分かりやすく身近な問題であると実感しました。私たちはメディアに操作されると耳にしてから数年が経ちます。しかしながら自分自身明確な認識がありませんでした。でも今回の講座で何か見えかけたような気がします。新しい情報を取り入れるときに、今までとはちがう視点を持つことが第一歩ですね。部落問題に関わるものとして大切なことをまた一つ学びました。ありがとうございました。



連絡

もし参加者の皆さんで宣伝したいチラシ等ありましたら、ご持参ください。毎回ふりかえり用紙をくばります。後でメールファックスでもいいので送ってください。お願いします。通信に反映させたいと思います。(公開だめなものはオープンにしません)

写真を撮影しますが、OYA OYA通信、八尾市人権協会のホームページなどで使用する場合があります。なるべく個人が特定しにくいものをと考えていますが、困るとい方は事務局に申しつけください。